

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4・10	家族とのコミュニケーションが利用者単位となっており、家族同士の交流がほとんど無いという課題がある。	グループホームの状況や想いを利用者家族全てに周知し、共有の物としていく。	機関紙(ラーゴム新聞)の発行、運営推進会議の資料の配布・送付、ラーゴム主催のイベントの開催などを継続的にこなしていく。	12ヶ月
2	33	利用者の身体状況の重度化が徐々に現れはじめてきている。	様々な状態の変化に対応する為の知識と技術を身につけておく。	研修への参加や看取り経験のある系列施設との情報交換をおこなっていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。